

第3回

小美玉市議会報告会を開催！

小美玉市議会基本条例に基づき、市議会では、8月上旬、市内3会場にて議会報告会を開催しました。

この報告会は、市民の皆様により、議会活動へのご理解並びに皆様からご意見・ご要望等をお伺いすることを目的に平成27年度より実施しています。

以下、3会場での主な質問、意見交換・要望等の内容を掲載いたします。なお、詳細につきましては、市議会ホームページに掲載しております。

《第1班》 美野里会場

〔開催日〕 平成29年8月3日（木）

〔会場〕 美野里公民館

〔参加者〕 13名

〔主な意見・要望等〕

Q. ふるさと寄付金の謝礼について3割を限度とする総務省通知があるが。

A. 現在、小美玉市では寄付額の5割以内で返礼品を用意しています。本市の返礼品は季節ものを多数採用しており、すでに発送準備

に取り掛かっているものや生産を開始したものなどがあるため、平成30年4月受付分より返礼率抑制を図ってまいります。

Q. ごみ処理の広域化により元の処理場跡地に中継所が必要と思うが。

A. 不便解消策の一つとして、不燃粗大ごみや大型家電等を対象とした戸別回収など、住民ニーズを捉えながら、軽減策について、議会としましても働きかけてまいります。

Q. 行政区の高齢化等の現状と対策は。

A. 行政区は市民の自治組織との連携を密にするとともに市行政を円滑に図るため設置しています。区役員の負担軽減等の課題については、行政区の現状を調査し、区長会の皆様と市執行部とともに検討してまいります。

Q. 美野里地区の公立幼稚園の園児が減少している。市では、公立幼稚園のあり方をどのように考えているか。

A. 保育園の多様な就労形態に対応した保育時間、認定こども園に移行した幼稚園や保育園では保育

と幼児教育を一緒に担っていることから、それらを選択する保護者が増えていると考えています。今後の状況等を見極めながら公立幼稚園が担うべき役割を明確にし、施設の規模や利用定員の見直しを行うことを検討していきます。議会としても地域の皆様のご意見を伺いながら対応してまいります。

Q. 美野里地区の下水道整備について。

A. 現在、美野里地区は小曾納・花野井・竹原下郷地区の整備を進めている状況です。その東側に位置する先後・清風台・橋場美・西郷地・小岩戸地区までの延伸には一定の期間を要することとなります。市は財源確保に努め、できるだけ早期の事業推進を目指していくことですので、議会としましても要望してまいります。

Q. 高速道路の側道の立木について。

A. 道路に張り出した立木等の枝伐採については、土地所有者の管理責任により対処することとなっております。行政側で無許可伐採等ができないため、適正管理を所有者にお願いせざるをえないのが現状です。また、立木等を規制する条例制定については、今後、市執行部とともに研究したいと考えます。

《第2班》 小川会場

〔開催日〕 平成29年8月4日（金）

〔会場〕 小川文化センター（アピオス）

〔参加者〕 17名

〔主な意見・要望等〕

Q. 空家対策について議会でバックアップしてもらいたい。

A. 市空家等対策計画に基づき、空家等データの整備後に、所有者の意向を踏まえ、空家バンク掲載等を行うことで利活用が図れる仕組みを構築し、また、管理不全な空家等は法令に基づき行政措置等を実施する予



8月3日 美野里公民館にて

定とのこと。議会としても、先進事例の調査を行い空家対策をバックアップいたします。

Q. 学校跡地の利活用について、どのように考えているか。

A. 現在、市では、学校跡地利活用について全市的な考え方を定める「小美玉市学校跡地利活用基本方針」について、今年度末の策定を目指し検討を重ねております。議会としても地域の皆様のご意見を伺いながら学校跡地の利活用について取り組んでまいります。

Q. 百里基地周辺の騒音及び航空祭等の交通渋滞について。

A. 騒音軽減及び航空祭等の交通渋滞解消について、引き続き、百里基地への申し入れを行ってまいります。

Q. 茨城空港のPR、ビジネスホテルの誘致は。また、つくばエクспレスの延伸は。

A. 茨城空港の利用促進については、イベント開催や就航先での空港PR活動などを展開しています。また、ビジネスホテル誘致について、県内自治体の事例調査など誘致策についての検討を進めています。つくばエクспレスについては、関連市議会議長による会議に

おいて茨城空港延伸に関する期成同盟会設立に向けた協議を行っております。

Q. バイオマス利用促進と臭気対策の視察から1年が経過するが、調査研究はどこまで進んでいるか。また、国庫補助を活用したバイオマス関連予算の計上及び第2次総合計画での位置付けは。

A. バイオマス発電の事業化にあたっては、幅広い検討が必要となることから、農業者や事業者に対する意向調査など事業の可能性について調査研究を進めて行きたいと考えます。国庫補助については、農水省や経産省などの多様な事業があり、事業の方向性による選択となります。また、総合計画には、バイオマス発電事業の調査研究等を明記するよう要望しています。

Q. 小美玉市医療センターをどのように考えていくか。

A. 病院の存続を第一とし、議会から民間移譲による経営改革を市に提言しました。それを踏まえ、小美玉市病院事業経営改革プランが策定され、今後、これに基づき、民間移譲による経営改革を目指して行きます。公募では、高齢化社会での在宅医療や介護に対する協力等を求めることとしています。



8月4日小川文化センター（アピオス）にて

《第3班》 玉里会場

〔開催日〕 平成29年8月5日（土）

〔会場〕 生涯学習センター（コスモス）

〔参加者〕 19名

〔主な意見・要望等〕

Q. LED防犯灯の行政区負担について。

A. 行政区で管理いただいております防犯灯のLED化に伴い電気料負担の軽減が図られておりますが、さらなる負担軽減に向け要望してまいります。

Q. 白雲荘について、今度つくられるごみ処理場に併設して今までと同じようにお風呂をつくって欲しい。その際、温泉を掘って観光振興の1つにして欲しい。

A. 新処理施設整備に伴う新たな地域還元施設等の整備については、霞台厚生施設組合を事業主体に推進します。今後の検討段階において、地域住民の皆様のご意見等が十分反映されるよう、事業主体である組合並びに構成市町と密に連携しながら協議調整を図ってまいります。

Q. 広域ごみ処理場の周辺道路整備を切望します。

A. 整備計画路線につきましては事業主体の組合が実施した地元説明会等を通じて、地元の皆様からのご意見を十分考慮し計画されたものと認識しております。引き続き、着実な事業展開が図られるよう、組合が実施する整備事業をサポートしてまいります。

Q. 霞ヶ浦の砂浜復活を。

A. 霞ヶ浦の人工砂浜については、魅力的な水辺の環境づくり、交流の拡大につながるものと考えます。事業導入の可能性について国交省との協議検討が必要となります。

Q. 霞ヶ浦の環境保全とその施策について。

A. 霞ヶ浦の水質は徐々に改善されておりますが、富栄養化の現象が進み植物プランクトンの生成が盛んになり、異常に繁殖することで水質汚濁が進んでいます。このため、流域住民の水質浄化への意識高揚を図るため夏季を「霞ヶ浦水質浄化強化月間」として関係団体とともに広報啓発事業を実施しております。

市では、外来種であるブルーギルの駆除作業を平成24年度に完了、県では漁業による水質浄化機能促進事業としてアメリカナマズなどの外来種を平成28年において319トンを処分しています。船溜まりは市内に6カ所あり、使用者である漁協に適正な維持管理に努めるよう指導して行くこととです。

国交省では、西浦全体で800万㎡の浚渫作業を完了、また、園部川が霞ヶ浦に流入する地点にウエットランドを設置し、浄化効果を検証中とのこととです。

Q. 玉里地区小中一貫校について。

A. 玉里小中一貫校の建設場所は、準備委員会において、現在の玉里

中学校敷地内に配置することに決定をし、また、通学に関する事など開校までの様々な検討事項は、来年度から協議を行う予定となっております。



8月5日 生涯学習センター（コスモス）にて

※ 各会場で出されましたご意見・要望については、各委員会できりまわしておりますので、議会事務局までお問い合わせください。

☎ (48) 1111

(内線1301・1302)

一般質問

市民の声を市政に



▲ 本庁舎の1階と各総合支所の1階ロビーにTVモニターを設置しています。

- ◇小川 賢治 (13 ページ)
- ◇村田 春樹 (13 ページ)
- ◇関口 輝門 (14 ページ)
- ◇鈴木 俊一 (14 ページ)
- ◇福島ヤヨヒ (15 ページ)
- ◇長島 幸男 (15 ページ)
- ◇石井 旭 (16 ページ)
- ◇植木 弘子 (16 ページ)
- ◇木村 喜一 (17 ページ)
- ◇戸田 見成 (17 ページ)
- ◇谷仲 和雄 (18 ページ)
- ◇幡谷 好文 (18 ページ)